

みらいNEXT

北区GIGAスクール構想通信



— 教育DXで広がる子どもたちの学び —

令和8年
5月号

<https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/schools/1018650/1018654.html>

東京都北区教育委員会教育振興部 教育DX推進課 (03-3908-9273)

新・小学1年生も「きたコン」デビュー! 学年が上がると、使い方もレベルアップ!

新しい学年が始まりました。小学1年生のお子さんにとっては、学校生活そのものが新しい挑戦です。そして今年度も、北区では一人1台学習用端末「きたコン」の貸与が始まっています。

「きたコン」というと、「こわさないように使いましょう」とか、「ルールを守りましょう」というような注意を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、もちろん、大切に使うことはとても重要ですが、伝えたいことは、それだけではありません。

「きたコン」は、ただの“機械”ではなく、子どもたちの「やってみたい!」を広げるための学びの道具なのです。

▶ 学び方は、一人一人違う時代へ

子どもたちには、それぞれ得意なことや苦手なこと、興味や関心の違いがあります。「きたコン」があることで、子どもたちは自分に合った方法で学びやすくなります。

例えば、文章を読むのが得意な子もいれば、動画を見ることで理解しやすい子もいます。自分でどんどん調べて学ぶ子もいれば、友達と一緒に考えることで力を発揮する子もいます。

写真を撮る、音声を録音する、動画で説明する、考えをまとめて発表する。こうした多様な学び方ができるのも、「きたコン」の大きな魅力です。

▶ 「正しく使う」は、“禁止を守る”だけではありません

端末を大切に扱うことや、使い方のルールを守ることはもちろん必要です。でも、本当に大切なのは、「どう使えば、自分やみんなの学びにつながるか」を考えることです。

例えば、友達が嫌な気持ちになる言葉を書かない。勝手に写真を撮って広めない。困った時には周りの人に相談する、など。

これは、単なる「情報モラル」ではなく、デジタル社会をよりよく生きるデジタル・シティズンシップ教育の理念です。

▶ 生成AI時代を生きる子どもたち

最近では、「生成AI」という言葉を耳にする機会が増えてきました。AIが文章を書いたり、画像を作ったり、質問に答えたりする時代が始まっています。これから子どもたちは、AIと共に生きる社会を歩んでいきます。だからこそ必要なのは、「自分はどう考えるか」、「何を伝えたいか」、「その情報は本当に正しいのか」を、自分自身で考える力です。

学校では、「きたコン」を使いながら、調べる力、考える力、伝える力を育てています。そして、生成AI時代だからこそ、子どもたちの“人としての力”がますます大切になっていきます。

▶ 「未来への伴走者」として

「きたコン」は、子どもたちの毎日の学びを支える“未来への伴走者”です。分からないことを調べたり、自分の考えを表現したり、友達と協力したり、時には失敗したりしながら、新しいことに挑戦していきます。

だからこそ、自然に“大切な学びの道具を自分で大切に使う”という気持ちが育っていきます。



北区GIGAスクール構想通信『みらいNEXT』は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、教育DX推進課が毎月発行いたします(8月以外)。

きたちゃん こん本 きた子 コンちゃん by Toshi & Chappy



パスワードは自分だけの「合言葉」

パスワードについて、次のようなことを、ご家庭でも話題にしてみてください。

- 電話番号、誕生日、簡単な数字などは、推測されやすいので注意が必要です。
- もし誰かに知られたかと思った時は、先生やおうちの人に相談しましょう。
- 困った時に大人に相談することも、大切な情報活用の力です。